

令和5年度(2023年度)事業計画書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

この法人は、視覚障がい者の社会参加活動等に対する支援のための事業並びに視覚障がい者支援団体の活動支援等の事業を通じて、兵庫県内の視覚障がい者の福祉向上に寄与することを目的とし、次の事業を行う。

- 1 視覚障がい者の社会参加活動に対する支援事業
- 2 視覚障がい者を有する大学生等に対する奨学金の給付事業
- 3 視覚障がい者支援団体の活動に対する助成事業
- 4 視覚障がい者支援団体に対する施設等の貸与事業
- 5 その他この法人の目的を達成するために必要な事業

I はじめに

当財団は、兵庫県下における視覚障がい者の「不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与する」ため、中山記念会館を拠点として中山記念会館KLC会12団体とともに「自立と社会参加をトータルサポートする事業」を実施しています。また長年の悲願でもあった新しい中山記念会館が令和3年9月に完成し、視覚障がい者のトータルサポートも実施できる活動を開始しております。

II 公益目的事業部門

公益事業1 中山記念会館の施設貸与事業

公益事業1 総予算 38,410千円

現在、支援入居7団体、共同事務所利用支援5団体に無償貸与し、相談・歩行指導・パソコン・点字・朗読・伴走や外出支援、地域活動センター等、視覚障がい者のトータルサポートを実施している施設です。

多くの視覚障がい者及び当事者団体並びに支援団体、そして盲ろう者支援団体が活動する場所として、新しい中山記念会館がその拠点となりました。

公益事業2 視覚障がい者支援団体及び視覚障がい者個人に対する助成等の事業

公益事業2 総予算 14,779千円

視覚障がい者支援を目的として活動する団体に対する助成金供与及び大学生、大学院生等に進学する視覚に障がいがある学生に対する奨学金を支給する。

2-1 助成金供与事業

視覚障がい者団体及び支援団体に対して助成金を支給する事業。令和5年度に助成を予定している支援団体は25団体で事業数は49事業、助成金総額 8,532千円

(1) 視覚障がい者の社会参加活動の支援

ア 講演会、各種競技会に対する助成 助成予定額 819千円

社会福祉法人兵庫県視覚障害者福祉協会点字競技会、その他1団体 7事業

イ 社会参加支援活動を行う団体に対する助成 助成予定額 5,450千円

社会福祉法人兵庫盲導犬協会、その他20団体 24事業

(2) 視覚障がい者の視察、研修会への参加に対する支援 助成予定額 1,684千円

一般社団法人神戸市視覚障害者福祉協会各地区活動促進費、その他1団体 13事業

(3) 視覚障がい者のためのスポーツ活動に対する支援 助成予定額 579千円

社会福祉法人兵庫県視覚障害者福祉協会スポーツ活動促進費、その他2団体 5事業

2-2 奨学金の無償給付事業

当年度の給付予定額は4名 2,280千円。(在校生1名 新入生予定3名)

この事業は、視覚障がい者で向学心に燃える大学生、大学院生等に、月々3万円から

6万円の奨学金を無償給付し、卒業まで学業に専念できる環境を整える一助としています。

公益事業3 視覚障がい者の社会参加活動に対する支援事業

公益事業3 総予算 32,413千円

障害のある人が障害のない人と同じように毎日を過ごし、共にいきいきと活動できる社会を目指す「ノーマライゼーション」の理念の定着を目指し、視覚障がい者の社会参加活動に対する支援を行う。

3-1 兵庫県視覚障がい者音楽祭事業

※「中山・KLCコンサートVol.11」 予算2,500千円

視覚に障がいがあるプロ、セミプロ、無名の演奏・声楽家等に、大勢の観客の前で演奏する機会を与え飛躍のきっかけになればと思い、毎年「兵庫県視覚障がい者音楽祭」を開催しています。また、観客には視覚障がい者や家族及び支援者を招き、音楽で頑張っている視覚障がい者を応援しています。(新型コロナウイルス感染症の状況で変更もあります。)

3-2 盲導犬貸与事業

※「盲導犬2頭貸与」 予算 5,000千円

兵庫県内の視覚障がい者に盲導犬「中山号」を貸与するため、兵庫盲導犬協会及び日本ライトハウスに各2,500千円を助成して年間2頭を育成します。

令和4年度(2022年度)までの盲導犬通算貸与は45頭です。

3-3 パソコン講座事業

※「中山視覚障がい者パソコン講習会」 予算 3,859千円

中途失明者の情報入手手段として音声パソコン習得は欠かすことが出来ません。

近年、iPad講習への関心が高くなっています。そして携帯電話からスマートフォンへの変更についての使い方の相談が増えてきています。そこで今年度から、パソコン初級講座を無くしスマートフォン(iPhone)の使い方講習に変更いたします。視覚障がい者向けスマートフォンのアプリ開発は進んでおりますが、使用できる方が少ないのが現状です。多くの方が使用できるように考えております。

コース・講座名	定員	講習日数	開催回数
(1) 音声パソコン初心コース	5名	2日間	2回
(2) パソコンインターネットコース	5名	2日間	1回
(3) パソコンオフィスコース	5名	3日間	1回
(4) iPad初心コース	5名	2日間	2回
(5) iPad活用コース	5名	3日間	1回
(6) iPhone初心コース	5名	4日間	2回
(7) iPhone活用コース	5名	4日間	1回
(8) パソコンサポートボランティア養成講座	5名	2日間	1回
(9) 当事者サポート養成講座	5名	3日間	1回
(10) ICT講座	5名	1日間	1回

3-4 音楽公演事業

※「中山ワンダフルフェスタVol.23 コンサート」 予算12,000千円

一流の音楽家を招き、大勢の視覚障がい者及びボランティアも参加できるコンサートで、皆さまが心待ちしている行事です。当日、盲導犬20数頭と車椅子10台程度も参加します。

3-5 同行援護従業者養成研修事業

※「同行援護従事者養成講習会」 予算 2,958千円

研修・講座名	研修日数	開催回数	応募数
(1) 一般課程	4日間	4回	48名
(2) 応用課程	3日間	2回	24名
(3) 介助入門講習	1日	1回	10名
(4) 手引き講座(ロービジョンの方対象)	1日	1回	10名
(5) 歩行基礎講座(視覚障がいの方対象)	1日	1回	10名

同行援護従業者講習会は各地で開催していますが、有料講習会では人数が集まらない上にガイドヘルパーの質の低下が問題になっています。このような状況を打開するために、開催回数を元に戻し、当財団で研修会を開催して同行援護従業者資格取得者の増加を図ります。また、短い時間で駅や街での安全な声掛けができることを目指す介助入門講習、ロービジョンの方対象の手引き実習を含む歩行講座、視覚障がい者対象の歩行の基礎講座も継続して実施いたします。

3-6 バリアフリー映画上映事業

※「中山UD映画祭」開催 予算 1,200千円

視覚障がい者向けのUD映画は、兵庫県内で当財団主催を含め年4回程度開催されていますが、いずれも満席で皆様が楽しみにしている行事です。

当年度は、神戸市内及び神戸市以外の地区開催で、計2回を予定しています。新型コロナウイルス感染症の状況で変更もあります。

Ⅲ 収益事業

新しい中山記念会館の建設に伴い、固定資産税、減価償却費、光熱水料費等を賄い、当財団の運営を安定させるため、中山記念会館5階にテナント企業としてトラスコ中山(株)に入居をしてもらっています。

当期経常増減額は、収入32,532千円、支出37,660千円で、▲5,127千円を予定しています。

		(単位:千円)	当年度予算
収益合計			32,532
家賃収入	2,442千円/月×12ヶ月		29,304
駐車場収入	16,500円×12ヶ月×11台		2,178
光熱費収入	入居団体からの徴収分		1,050

		(単位:千円)	当年度予算
支出合計			37,660
減価償却費			24,640
租税公課	固定資産税・消費税		7,873
光熱水料費	電気代・水道代		2,178
業務委託費			2,844
その他	消耗品・修繕費・賃貸料等		125

Ⅳ 管理部門

1. 活動の基本方針

中山記念会館と当財団及び会館入居団体の総称である「中山記念会館KLC会」の活動を県内に広く広報し、中山記念会館を不特定多数の視覚障がい者と盲ろう者が利用しやすい施設とする。

2. 広報活動

当財団の兵庫県での知名度は格段に上がり、近畿地域にも広がってきています。引続き、団体の行事への参加等を通じて視覚障がい者と盲ろう者の接点を増やしていきます。また、ホームページからの発信も積極的に行ってまいります。

3. 公益法人事業の運営充実

“奨学事業研究会”で、勉強会等を実施して財団運営及びガバナンスの向上を目指していきます。

4. 中山記念会館KLC会の開催

中山記念会館入居視覚障がい者支援7団体と共同事務所利用視覚障がい者支援5団体、そして当財団とトラスコ中山の合計14団体にて中山記念会館KLC会を構成しています。2ヶ月に一度集まり、相互の活動の内容を知ってもらい理解してもらうこと、及び地域の皆様に中山記念会館内での活動を知ってもらうことを考え開催しています。

また、中山記念会館内で起こっている問題等についても情報を共有し、活動しやすい運営を目指しています。